

## 令和6年3月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年3月分について、輸出額は「有機化合物」などが減少したものの、「自動車」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが増加したことから、対前年同月比 22.9%の増加となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが増加したものの、「液化石油ガス」、「石油製品」、「石炭」などが減少したことから、同 6.7%の減少となった。その結果、差引額は1,041億円（同 23.5%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	947億円	+22.9%	1,988億円	▲6.7%	▲1,041億円	▲23.5%
	8カ月連続の増加		3カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	186億円	+228.0%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	341億円	+25.7%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	46億円	+51.3%			(2) 非鉄金属鉱	18億円	+45.5%
		(3) 電気回路等の機器	83億円	+17.7%			(3) とうもろこし	5億円	+757.6%
	減少品目	(1) 有機化合物	36億円	▲44.9%		減少品目	(1) 液化石油ガス	52億円	▲62.6%
		(2) 自動車の部分品	75億円	▲4.4%			(2) 石油製品	8億円	▲90.7%
		(3) ゴム製品	34億円	▲8.8%			(3) 石炭	26億円	▲75.4%
地域別動向	西欧、北米が増加、大洋州は減少			地域別動向	大洋州、中東が減少、アジアは増加				

(参考) ドルレートは、149.45円（前年同月比10.7%、14.48円の円安）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注) 本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。